

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 14 年 8 月 1 日

帝国石油株式会社

当社は、平成 14 年 2 月 28 日の決算発表時に公表いたしました平成 14 年 12 月期中間（平成 14 年 1 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）の個別及び連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 14 年 12 月期中間業績予想数値の修正（平成 14 年 1 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）

【個 別】

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 14 年 2 月 28 日発表）	30,300	2,900	3,100
今回修正予想（B）	29,700	5,700	4,500
増減額（B－A）	△ 600	2,800	1,400
増減率（％）	△ 2.0	96.6	45.2
前中間期実績（平成 13 年中間期）	31,131	7,342	4,841

【連 結】

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 14 年 2 月 28 日発表）	36,600	3,700	3,200
今回修正予想（B）	35,800	7,500	4,900
増減額（B－A）	△ 800	3,800	1,700
増減率（％）	△ 2.2	102.7	53.1
前中間期実績（平成 13 年中間期）	38,595	9,624	5,554

2. 修正の理由

当社は、従来より、海外探鉱プロジェクト会社に対する出資については、事業のリスクが高いことから、プロジェクトの成否にかかわらず、出資した時点で全額海外投資等損失引当金を設定しておりますが、プロジェクトの成功により当該出資先の資産状態が改善した場合は、純資産を基準に引当金の戻し入れを行っております。

当中間期においては、海外探鉱プロジェクト会社に対し、予定していた出資が下半期に

ずれ込んだことにより繰入額が予想を下回り、さらに一部既投資先各社の資産状態が改善したことにより、戻入額が予想を上回ることとなりました。

また、国内探鉱作業に関しても、作業の遅れにより下半期に費用の発生がずれ込むこととなりました。

これらの要因により、当中間期は、従来予想に比べ個別、連結決算とも、大幅な増益となる見通しとなりました。

なお、通期（平成 14 年 1 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日）の個別及び連結業績予想については、平成 14 年 2 月 28 日に発表いたしました以下の数値に大きな変動はない見込みであります。

通期業績予想数値（平成 14 年 1 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
個 別 業 績 予 想	59,800	4,700	4,800
連 結 業 績 予 想	71,200	5,600	5,100

以上